

ものづくり de 教育

Vol.20 July.2010

Topics

春学期終了に向けて
学生レポート：海外から
キーワード「教師力」
1期生レポート



2010年春学期終了に向けて、ラストスパート

4月から始まったものづくり教育選修も、いよいよひとつの学期が終わろうとしています。本選修では、1年生必修授業の学期末試験に加え、オープンキャンパスでのワークショップと春学期中に積み重ねたドキュメンテーションの発表が控えていて、学生はフル回転です。今回はその様子と内容をお伝えします。(新名)

オープンキャンパスで行うワークショップ(以下WS)は、企画運営をすべて11人の仲間と協力し合いながら進めていきます。少ない人数だから、容易に一致団結できるはずだと思うのですが、実際に本気で話し合い始めると11人は大人数です。当初は、お互いに譲り合い、牽制し合って前に進むことさえできませんでした。自体を打開しようとそれぞれが考え、言葉を交わすうちに、「役割」について考えはじめたようです。チームを作り、分担を決め、受け持った仕事に全力を注ぎます。その中の、広報班の活動に着目すると、彼らの仕事はWSに参加する子どもに向けたチラシづくり。当日WS見学者を募集するチラシづくりが主な仕事でした。作るべきものが明確でも、何をしたいかがわからないところからスタートした彼らは、ワードの使い方から勉強しました。わからないことは本やネット上で検索し、ひとつずつ障害を乗り越えていきます。結果的にできあがったものは右の写真のチラシです。どれくらい子どもの応募が来るのか、このチラシにかかっています。

上記のような様々な活動は、各学生がドキュメンテーションとして記録しています。記録の形式は自由。今後4年間で先生になるための力づくりは、日々の記録の積み重ねも重要と考えられています。7月29日の発表会で学生がプレゼンし、先生方が審査して、今学期を終える予定です。



▲小学生に配布するために作成したチラシ。文字の大きさやバランス、色合いの他、小学生にも読める内容作りにも苦労した。

関連学生レポート：ほんとうに「忙しい」のかな? 東京学芸大学教育学部美術専攻4年 谷脇もも

大学の協定校でもあるスウェーデンにあるイエーテボリ大学 HDK 校(デザイン・工芸大学)に交換留学していた、谷脇ももさん(現在:学芸大・美術科4年)より、今回の交換留学(3年後期より1年間)を終えるにあたり、本ニューズレターへ寄稿してもらいました。(鉄矢)



▲大自然の中でピクニック。

北欧人は自然の中で遊ぶ方法を知っているのだ。たら良いものか困ってしまった。クラスメイトに休日の過ごし方を尋ねると「家の中にいるよ。だって寒いからね!」との答え。しかし家の中で一体何をしているんだ?と私の疑問は晴れない。するとある日、クラスでお昼を食べているところへ一人がピザを持ってきた。自分で焼いたのだと言う。そしてまた別の日、一人がケーキを持ってきた。やはり作ったのだと言う。他にも、身につけている物をかわいいねと褒めると、喜びつつも照れる。理由はもちろん、手作りだから。

特に物価の高いこの国において、手作りは当たり前のことになっている。みんな、手作りの時間を楽しんでいるのだ。彼らに影響を受けて私も、いつもより手の込んだ料理を作ったり、雑貨屋さんで買う前に「これ、作れるのでは?」と考えるようになった。そして東京で「忙しい」と思っていた私は本当に忙しかったのか?意味のあることに時間を使っていたのか?と自問自答を繰り返した。私だけの問題では無い。東京という街自体が忙しいのである。東京には沢山の便利グッズがある。しかし、東京の生活は速い。暮らしが楽になるように発明された便利グッズなのに、何故?スウェーデン人の日本人に対するイメージは「夜遅くまで働かされる」「電車で寝ている」だそう。

予定が埋まっていなくても、制作や手作りに夢中になった私は、いつしか空き時間の使い方等悩まなくなっていた。留学生活の後半では、時間が足りないと思うほどだった。自分の目標に向かって、しっかりと手を動かす。デザインとこれほどまでに真摯に向き合ったのは、もしかしたら受験以来かも知れないな・・・と思った。

この作文を書くにあたり、留学生活10ヶ月のスケジュール帳を読み返してみた。するとあまり予定が無い。あんなに充実していたのに。反対に、留学前のスケジュール帳は予定でびっしり。大学に通い、バイトをこなし、サークル活動や課題制作に明け暮れていた(・・そう、本当に明け暮れていたのだ)20歳の頃の口癖は「時間がない」だった。忙しいと思っていたのだ。しかしそれは、全くの勘違いでしかなかった事をスウェーデンにて思い知らされた。

留学当初はゆっくり流れる時間に慣れず、空き時間をどうし



▲手作りなのにこのクオリティー。学校のXmasマーケットで販売した学生作品。



▲HDKのクラスメイトが教室で作ってくれたケーキ。

